



# 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 日本新薬株式会社

コード番号 4516 URL <http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前川 重信

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務部長 (氏名) 櫻井 太郎

TEL 075-321-9114

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	44,504	12.9	6,492	207.7	6,131	162.5	4,483	194.3
28年3月期第2四半期	39,413	8.1	2,110	3.7	2,335	2.8	1,523	5.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,502百万円 (137.9%) 28年3月期第2四半期 1,472百万円 (△40.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	66.56	—
28年3月期第2四半期	22.61	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	135,217	105,962	78.2	1,569.77
28年3月期	135,370	102,762	75.8	1,522.33

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 105,744百万円 28年3月期 102,549百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
29年3月期	—	18.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	19.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成28年11月8日)公表いたしました「業績予想の修正ならびに剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,500	13.4	13,500	57.9	13,300	48.6	9,000	42.0	133.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成28年11月8日)公表いたしました「業績予想の修正ならびに剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	70,251,484 株	28年3月期	70,251,484 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,888,771 株	28年3月期	2,888,330 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	67,362,971 株	28年3月期2Q	67,378,545 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。連結業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、機関投資家・アナリスト向け決算説明会を平成28年11月10日に開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催にあわせてTDnet及び当社ウェブサイトを開示する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 主力製品売上高	10
(2) 製品開発状況	11
(3) 製品開発状況・補足資料	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の業績は、国内医薬品新製品群の伸長に加え、導出自社創製品セレキシパグの欧州での承認取得に伴う一時金収入および海外売上に伴うロイヤリティ収入等が寄与し、売上高は445億4百万円と対前年同期比12.9%の増収となりました。利益面では、増収に加え研究開発費、販売費及び一般管理費の一部費用が第3四半期以降にずれ込んだことにより、営業利益は64億9千2百万円（対前年同期比207.7%増）、経常利益は61億3千1百万円（対前年同期比162.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億8千3百万円（対前年同期比194.3%増）といずれも大幅な増益となりました。

医薬品事業では、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤「ザルティア」、骨髄異形成症候群治療剤「ビダーザ」、がん疼痛・慢性疼痛治療剤「トラマール」・「ワントラム」、肺動脈性肺高血圧症治療剤「アドシルカ」等新製品群の売上の伸長とともに、上記一時金収入及びロイヤリティ収入が寄与し、売上高は375億8千2百万円と対前年同期比16.6%の増収となりました。

機能食品事業では、品質安定保存剤の売上は伸長しましたが、ニュートリション素材、たん白製剤、健康食品素材の売上が減少し、売上高は69億2千2百万円と対前年同期比3.4%の減収となりました。

## [研究開発の状況]

## (国内開発状況)

- ・肺高血圧症治療剤「NS-304（一般名：セレキシパグ）」については、平成28年1月に肺動脈性肺高血圧症の効能・効果で製造販売の承認申請を行い、9月に承認を取得、製品名「ウプトラビ錠」として現在発売準備中です。また、平成28年6月より慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象とした第三相試験をアクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社と共同で開始しました。同効能・効果については、本年6月に希少疾病用医薬品の指定を受けました。閉塞性動脈硬化症を対象とした後期第二相試験は、日本新薬が単独で平成28年8月より開始しました。
- ・非ホジキンリンパ腫治療剤「GA101（一般名：オビヌツズマブ）」については、中外製薬株式会社と共同で、低悪性度非ホジキンリンパ腫を対象とした第三相試験（国際共同試験）を実施中です。
- ・デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療剤「NS-065/NCNP-01」については、平成27年10月に厚生労働省より「先駆け審査指定制度」の対象品目として指定され、平成28年1月に治験届を提出し、第一/二相試験を開始しました。
- ・子宮内膜症治療剤「NS-580」については、平成27年4月に第一相試験を開始しました。

## (海外開発状況)

- ・合成抗菌剤「ブルリフロキサシン」については、中国において導出先のリーズ・ファーマ社（香港）が第三相試験を終了し、現在申請準備中です。
- ・骨髄線維症治療剤「NS-018」については、米国において第一/二相試験を実施中です。
- ・「NS-065/NCNP-01」については、平成28年3月に治験届を米国食品医薬品局（FDA）に提出し、第二相試験を開始しました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、1,352億1千7百万円と前連結会計年度末に比べ1億5千2百万円の減少となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金は減少しましたが、現金及び預金、有価証券等が増加し860億7千2百万円と前連結会計年度末に比べ6億7千1百万円の増加、固定資産は、有形固定資産は増加しましたが、投資その他の資産等が減少し491億4千5百万円と前連結会計年度末に比べ8億2千3百万円減少しました。

負債は、支払手形及び買掛金が増加しましたが、退職給付に係る負債、繰延税金負債等が減少し292億5千5百万円と前連結会計年度末に比べ33億5千2百万円の減少となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金等が減少しましたが、利益剰余金等が増加し、1,059億6千2百万円と前連結会計年度末に比べ32億円の増加となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、22億1千6百万円増加し、269億6千4百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は67億1千8百万円の収入となりました。主な内訳は、収入項目では税金等調整前四半期純利益61億3千1百万円、売上債権の減少額18億9千万円、減価償却費13億5千3百万円、支出項目は、法人税等の支払額19億5百万円、その他の流動負債の減少額5億6百万円でした。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、31億9千万円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出、有価証券の取得による支出等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は9億4千7百万円の支出となりました。配当金の支払額等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期連結業績予想に関する事項については、本日公表の「業績予想の修正ならびに剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,435	22,301
受取手形及び売掛金	35,135	33,245
有価証券	7,626	7,910
商品及び製品	12,730	12,975
半製品	1,182	1,172
仕掛品	336	412
原材料及び貯蔵品	4,679	4,313
繰延税金資産	1,861	1,934
その他	1,411	1,807
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	85,401	86,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,449	7,383
土地	7,509	7,509
その他(純額)	2,664	3,646
有形固定資産合計	17,624	18,540
無形固定資産	501	492
投資その他の資産		
投資有価証券	21,497	20,423
繰延税金資産	55	59
長期前払費用	7,521	6,941
その他	2,768	2,687
投資その他の資産合計	31,843	30,112
固定資産合計	49,968	49,145
資産合計	135,370	135,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,759	6,912
未払金	7,111	5,272
未払法人税等	1,929	1,720
賞与引当金	2,517	2,500
その他	2,250	1,810
流動負債合計	20,569	18,216
固定負債		
繰延税金負債	1,192	869
退職給付に係る負債	10,410	9,741
その他	434	427
固定負債合計	12,037	11,038
負債合計	32,607	29,255
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,174	5,174
資本剰余金	4,445	4,445
利益剰余金	89,658	93,843
自己株式	△2,413	△2,416
株主資本合計	96,864	101,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,091	7,880
繰延ヘッジ損益	△2	△14
為替換算調整勘定	17	△9
退職給付に係る調整累計額	△3,421	△3,159
その他の包括利益累計額合計	5,684	4,696
非支配株主持分	213	218
純資産合計	102,762	105,962
負債純資産合計	135,370	135,217

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	39,413	44,504
売上原価	21,569	21,825
売上総利益	17,844	22,679
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,239	3,236
賞与引当金繰入額	1,674	1,672
販売促進費	1,355	1,388
退職給付費用	397	458
減価償却費	154	195
研究開発費	4,725	5,052
その他	4,186	4,182
販売費及び一般管理費合計	15,734	16,186
営業利益	2,110	6,492
営業外収益		
受取利息	9	15
受取配当金	210	208
受取賃貸料	183	216
為替差益	9	-
その他	71	93
営業外収益合計	483	534
営業外費用		
支払利息	1	1
寄付金	146	125
為替差損	-	610
賃貸費用	49	50
その他	60	107
営業外費用合計	258	896
経常利益	2,335	6,131
税金等調整前四半期純利益	2,335	6,131
法人税、住民税及び事業税	536	1,615
法人税等調整額	272	25
法人税等合計	809	1,640
四半期純利益	1,526	4,490
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,523	4,483



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,526	4,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△256	△1,211
繰延ヘッジ損益	9	△12
為替換算調整勘定	2	△27
退職給付に係る調整額	190	262
その他の包括利益合計	△54	△988
四半期包括利益	1,472	3,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,468	3,495
非支配株主に係る四半期包括利益	3	7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,335	6,131
減価償却費	1,184	1,353
引当金の増減額 (△は減少)	△33	△17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△506	△299
受取利息及び受取配当金	△220	△224
支払利息	1	1
為替差損益 (△は益)	△17	521
売上債権の増減額 (△は増加)	1,354	1,890
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,216	55
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△432	△383
仕入債務の増減額 (△は減少)	△297	146
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△399	△346
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△29	△506
その他	△31	79
小計	1,691	8,401
利息及び配当金の受取額	220	224
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△2,180	△1,905
営業活動によるキャッシュ・フロー	△271	6,718
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△60	△80
定期預金の払戻による収入	30	30
有価証券の取得による支出	△500	△1,000
有価証券の償還による収入	500	320
投資有価証券の取得による支出	△500	△0
有形固定資産の取得による支出	△369	△2,397
無形固定資産の取得による支出	△76	△154
長期前払費用の取得による支出	△650	-
その他	72	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,554	△3,190
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△876	△942
自己株式の取得による支出	△37	△2
その他	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△916	△947
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△432
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,721	2,148
現金及び現金同等物の期首残高	21,914	24,748
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	67
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,192	26,964

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬品	機能食品	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	32,244	7,169	39,413	-	39,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	32,244	7,169	39,413	-	39,413
セグメント利益	1,966	143	2,110	-	2,110

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬品	機能食品	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	37,582	6,922	44,504	-	44,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	37,582	6,922	44,504	-	44,504
セグメント利益	6,208	284	6,492	-	6,492

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 主力製品売上高

(単位:百万円)

製 品 名	薬 効	第2四半期累計			通期		
		H28年 3月期	H29年 3月期	前年同期 増減率	H27年 3月期	H28年 3月期	H29年 3月期(予)
ビダーザ	骨髄異形成症候群治療剤	6,066	6,719	10.8%	10,814	12,360	13,400
ザルティア	前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤	2,320	3,834	65.2%	1,613	5,638	10,000
トラマール・ワントラム	がん疼痛・慢性疼痛治療剤	2,098	2,806	33.7%	2,803	4,306	6,900
ルナベル	月経困難症治療剤	3,493	2,740	△ 21.6%	6,553	6,658	6,000
アドシルカ	肺動脈性肺高血圧症治療剤	1,765	2,129	20.7%	3,204	3,529	4,000
シアリス	勃起不全(ED)治療剤	1,687	1,817	7.7%	3,682	3,508	3,000
エビプロスタット	前立腺肥大症治療剤	2,185	1,745	△ 20.2%	5,573	4,224	3,200
ガスロンN	粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤	1,566	1,254	△ 19.9%	3,668	2,992	2,300
アズノールうがい液	アズレン含嗽液	1,101	1,028	△ 6.6%	2,522	2,525	2,300
エリザス	アレルギー性鼻炎治療剤	463	606	30.9%	2,192	2,289	2,300
キロサイド	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤	750	594	△ 20.9%	1,764	1,409	1,000
バイナス	アレルギー性鼻炎治療剤	525	479	△ 8.8%	1,774	1,597	1,300
共同販促収入		18	988	5,172.8%	-	393	2,300
工業所有権等収益		115	4,196	3,544.3%	2,510	3,208	6,600
原薬		474	249	△ 47.5%	656	846	6,200
医薬品計		32,244	37,582	16.6%	66,340	70,489	81,900
機能食品計		7,169	6,922	△ 3.4%	13,651	13,720	13,600
売上高		39,413	44,504	12.9%	79,991	84,209	95,500

## (2) 製品開発状況

## &lt;国内開発状況&gt;

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適 応	オ リ ジ ン	開 発
発売準備中	NS-304 (レキシパグ)	難病・希少疾患	肺動脈性肺高血圧症	自社	共同： アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン
P III	GA101 (オビヌズマブ)	血液がん	低悪性度非ホジキンリンパ腫	導入：中外製薬	共同：中外製薬
P III	NS-304 (レキシパグ)	難病・希少疾患	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	自社	共同： アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン
P II	NS-304 (レキシパグ)	循環代謝系	閉塞性動脈硬化症	自社	自社
P I / II	NS-065/ NCNP-01	難病・希少疾患	デュシェンヌ型筋ジストロフィー	自社	自社
P I	NS-580	婦人科疾患	子宮内膜症	自社	自社

## &lt;海外開発状況&gt;

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適 応	オ リ ジ ン	開 発
申請準備中	NM441 (フルロキサシ)	感染症	合成抗菌剤	自社	導出： リース・ファーマ社(香港)
P I / II	NS-018	血液がん	骨髄線維症	自社	自社
P II	NS-065/ NCNP-01	難病・希少疾患	デュシェンヌ型筋ジストロフィー	自社	自社

## (3)製品開発状況・補足資料

発売準備中	
NS-304 (国内) (レキシパ®)	肺動脈性肺高血圧症治療剤として、平成26年9月に厚生労働省より希少疾病用医薬品指定済み。肺動脈性肺高血圧症を適応症として、平成28年1月に製造販売の承認申請を行い、9月に承認された。
フェーズⅢ	
GA101 (レックスマブ®)	中外製薬より導入したヒト化抗CD20モノクローナル抗体で、非ホジキンリンパ腫の治療薬としてリツキシマブと同様に、B細胞上のCD20を標的とする薬剤。国内では、中外製薬が平成20年10月より低悪性度および中高悪性度非ホジキンリンパ腫を予定効能・効果として開発を開始した。平成24年11月に中外製薬と共同開発・共同販売契約を締結した。現在、中外製薬と共同で、低悪性度非ホジキンリンパ腫を対象としたPⅢ国際共同治験を実施中。
NS-304 (国内) (レキシパ®)	慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象として、平成28年6月に厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受けた。PⅢ試験をアクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパンと共同で平成28年6月より実施中。
フェーズⅡ	
NS-304 (国内) (レキシパ®)	閉塞性動脈硬化症を対象としたPⅡa試験を終了し、平成28年8月よりPⅡb試験を自社単独で開始した。
フェーズⅠ/Ⅱ	
NS-018	自社開発したJAK2チロシンキナーゼ阻害剤で、強力な阻害作用と活性型JAK2チロシンキナーゼに対する選択性が高いことから、有効性の向上と副作用の軽減が期待される。国内の患者数が少ないことから、海外での臨床試験を先行し、米国において骨髄線維症患者を対象としたPⅠ/Ⅱ試験を実施中。患者登録については完了した。
NS-065/ NCNP-01	自社開発したアンチセンス核酸医薬品で、変異を受けたジストロフィン遺伝子のエクソン53をスキップさせることでジストロフィンタンパク質の発現を誘導する注射剤である。平成27年10月「先駆け審査指定制度」の対象品目として指定された。平成28年1月に治験届を提出し、PⅠ/Ⅱ試験を開始した。また、米国でも平成28年3月に治験届を提出し、PⅡ試験を開始した。
フェーズⅠ	
NS-580	自社開発した経口投与可能な膜結合型プロスタグランジンE合成酵素-1 (mPGES-1) 阻害剤で、ホルモン作用のない子宮内膜症治療剤である。選択的にPGE2の産生を阻害することで、鎮痛効果と病巣の改善効果が期待される。平成27年4月にPⅠ試験を開始した。